



第一回ユニパストーク

2026年2月23日（木）21時～
NPO法人親の育ちサポートかがわ



今日、お話しすること

1. ごあいさつ
2. ユニパスバンクの概要
3. アンケート調査の結果発表
4. ユニパスバンクのこれから
5. 前回の感想と私たちが考えること
6. コメント

高松市教育支援センター熊田さま
香川大学医学部西山先生

はま
おか

すず
き

よこ
た

たか
はし





ユニパスバンク

ロゴの意味：UB

1. 先輩ユニパスと後輩ユニパスとのつながり
2. 先輩ユニパスが大きな耳で話を聴き、対話を通して、後輩ユニパスに気づきや発見が生まれ、笑顔になる
3. かたつむりのように遅々たる歩みかもしれないけど、少しずつ前にすすんでいる

第1回 ユニパストーク



2026.4.23
オンライン開催

1

はじめに

2

事実の把握

3

私たちの活動対象

4

目指すビジョンと実現に向けたアプローチ

1. はじめに

- ✓ 近年、日本では子どもや若者の“**生きづらさ**”が深刻化しています。
- ✓ 生きづらさの原因やそれによる事象は多様化し、その数も増加の一途をたどっています。

約**42**万人

不登校者数 (小中学生35万人、高校生7万人)

約**55**万人

ヤングケアラー (小学6年生7万人、中学生18万人、高校生12万人、大学生18万人)



身近にどのくらいいるの?

子どもたちはどんな支援が欲しいの?

どんな生きづらさがあるの?

自分たち

✓ 約1年半かけ、以下の内容を議論、整理してきました。



✓ 今日はコスト以外の6つについてお話しします。



2. 事実の把握 「いま社会で起きていること」

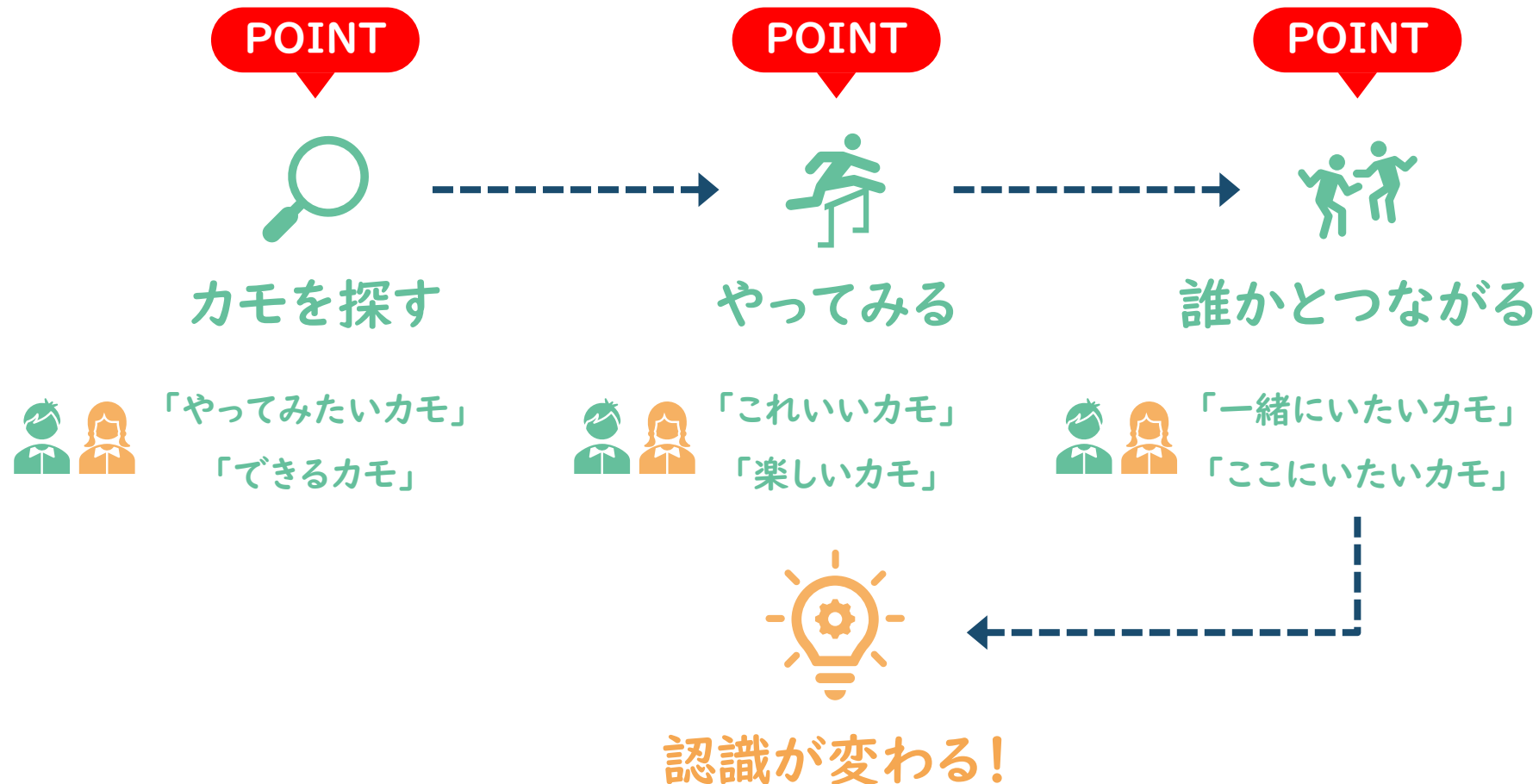
香川県内の中学校、高等学校合わせて6校、1,727名にアンケートを実施。

この後の鈴木さんと高橋さんの発表で、集計結果と考察を説明します！

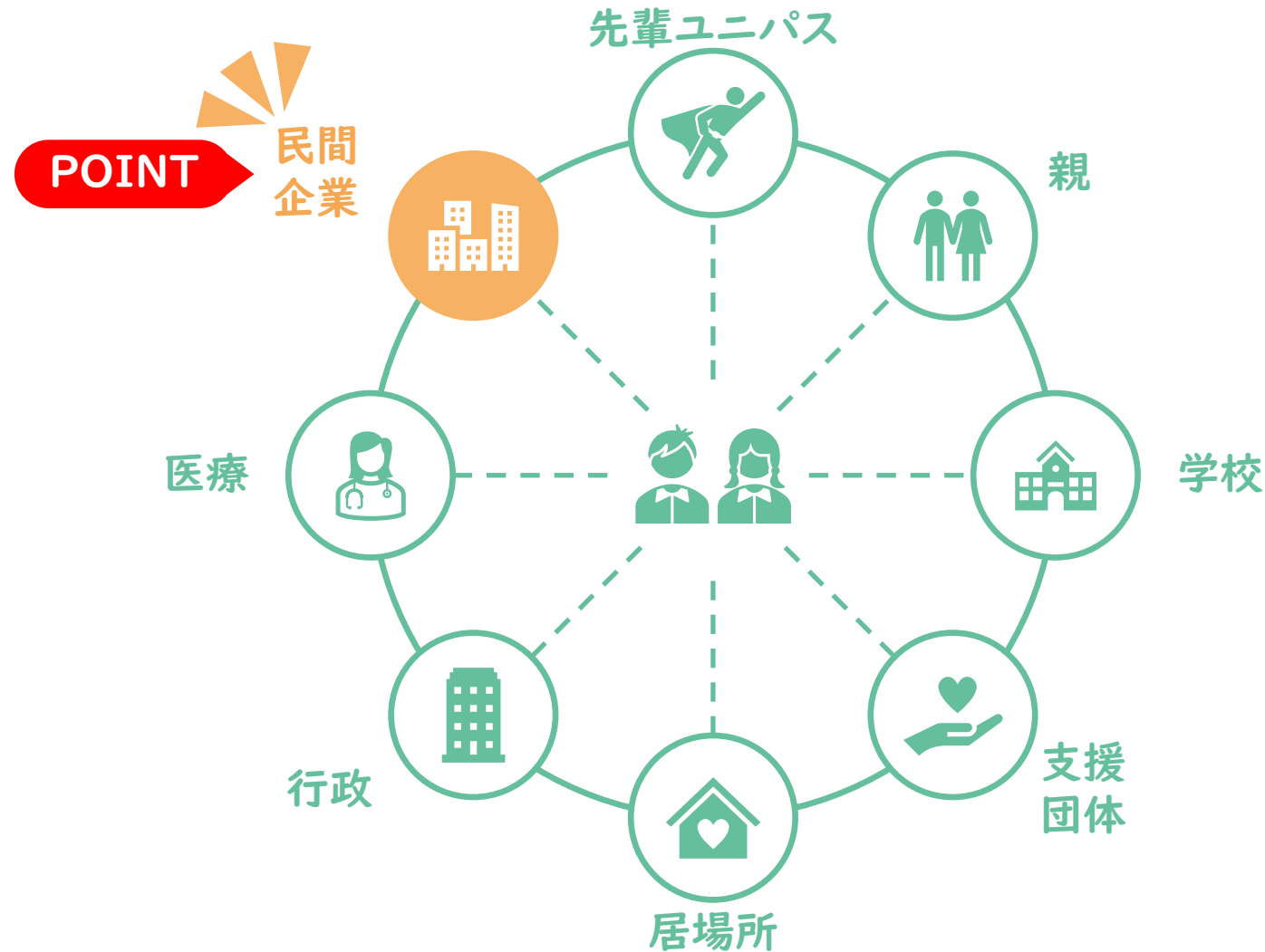
3. 私たちの活動の対象

4. 目指すビジョンと実現に向けたアプローチ

- ✓ ユニパスさんの“生きづらい”という認識に向き合い、その改善に取り組めます。
- ✓ 自己認識は周りの人との接点から変化します。それをポジティブなものにするには、一緒にいたい人、ここにいたい場所を作ることが重要です。



- ✓ ユニパスさんに関わってくれる社会や人との関係を整理、構築することに取り組めます。
- ✓ 特に企業との連携が重要になってきます。



5. 具体的な支援の仕組み

✓ “ユニパスのABC”を核としながら、様々な企画や構想を検討中です。

UPA
Uni-Path
Application

UPB
Uni-Path
Buddy

UPC
Uni-Path
Consortium

6. むすび

生きづらさを抱える子どもの実態調査

NPO法人親の育ちサポートかがわ
鈴木裕美

「生きづらさ」と抑うつ

生きづらさ

